

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

# 直東学園ニュース

## 直江津東中学校区すこやかネットワークだより

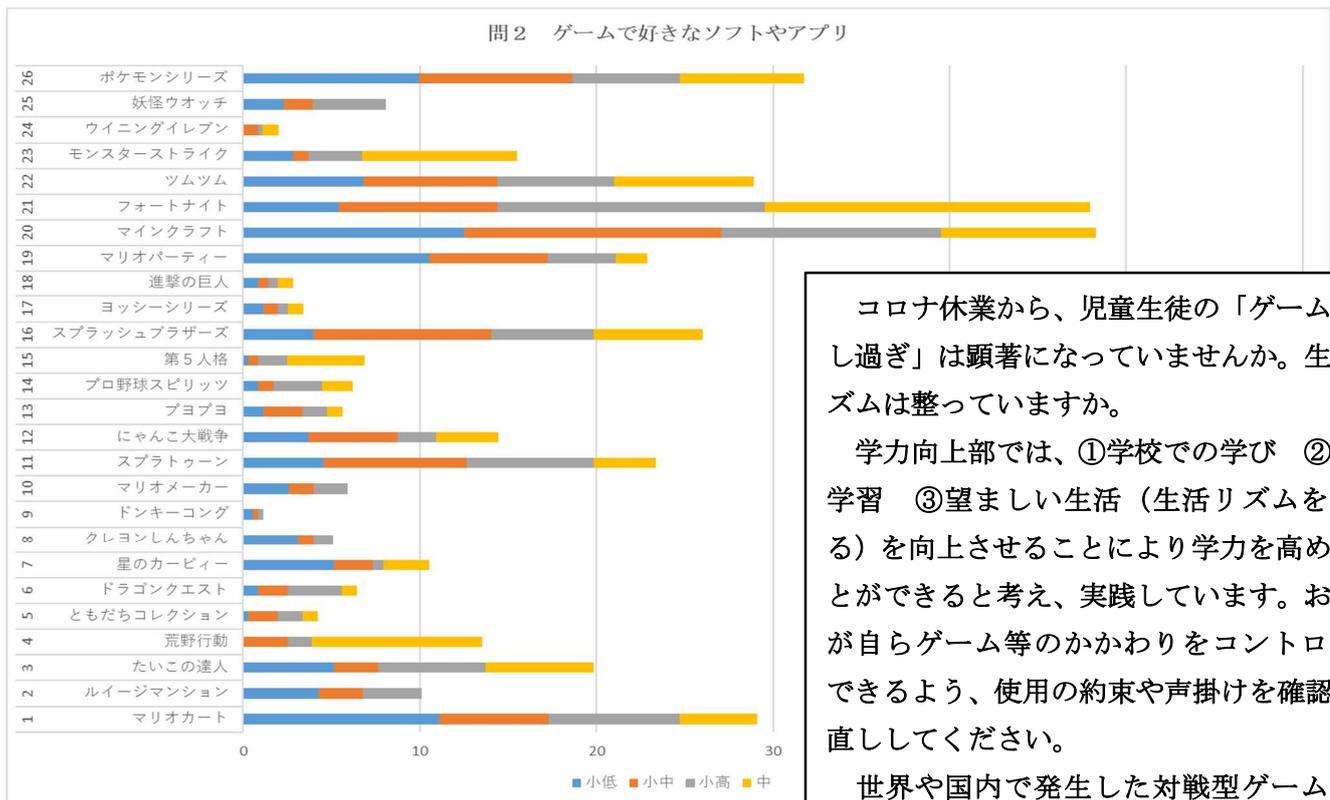
令和2年度 第4号  
令和2年9月25日発行  
<発行・編集>  
直東学園 事務局  
〒942-0041  
新潟県上越市安江 282-1  
(上越市立直江津東中学校内)  
TEL : 025-543-2729  
FAX : 025-543-4150  
E-mail : higashi-cs@jorne.or.jp

ご家庭でのゲーム機とネット機器の使用について、

- 1 ご家庭での使用の約束は、決めてありますか。
- 2 お子さんは、約束を守ろうとしていますか。約束を守るよう、おうちの方は働き掛けていますか。
- 3 約束を守れなかった場合、おうちの方の「止めようね」の声掛けで、止めることができますか。

昨年度、学力向上部では、12月から2月にかけて直東学園児童生徒の「ゲーム機とネット機器に関するアンケート調査」を実施しました。結果、「自分が使えるスマートフォンやゲーム機の所持」は、小学生平均が86%、中学生平均が98%、「ユーチューブなどを視聴できるゲーム機やタブレットの所持」が、小学生75%、中学生95%となりました。また、小学校中学年以降、機器の所持が増加し、ゲームアプリ「フォートナイト」「第5人格」「荒野行動」などの対戦型ゲームを、平日でも長時間行う児童生徒がいました。

児童生徒の好きなソフトやアプリ、魅力を感じるソフトやアプリは以下のとおりです。



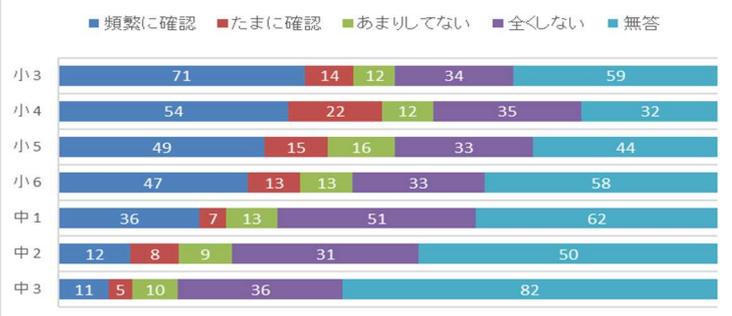
コロナ休業から、児童生徒の「ゲーム等のし過ぎ」は顕著になっていませんか。生活リズムは整っていますか。

学力向上部では、①学校での学び ②家庭学習 ③望ましい生活（生活リズムを整える）を向上させることにより学力を高めることができると考え、実践しています。お子様が自らゲーム等のかかわりをコントロールできるよう、使用の約束や声掛けを確認、見直ししてください。

世界や国内で発生した対戦型ゲームのトラブルについても、再度、ご家庭で話題にしてみてください。

学力向上部では、2学期から直東学園全体で「スタディー&アウトメディアウィーク」（家庭学習強調週間）に取り組みます。是非、お子様と話し合いながらメディア接触をコントロールし、家庭学習を頑張るお子様を見守っていただければと思います。

### Q5S2: 約束確認



## 北諏訪小学校の取組

「学び合い、お互いに高め合って課題を解決する子」の育成を目標に、以下の取組を行っています。

### ○算数科の授業実践

「数学的な思考力・表現力を育て、学ぶ意欲を高める授業づくり」をテーマに、問いが生まれる課題の設定と数学的活動の工夫に取り組んでいます。



### ○学力向上の取組

#### ①授業改善

- ・「学習の約束十か条」の定着を図ります。
- ・課題提示、山場、振り返りを考えた授業構成を工夫します。

#### ②基礎学力を定着させるための取組

- ・全校漢字・計算テストを実施します。
- ・ワークテスト、オンライン教材等を学力向上に生かします。

#### ③よく聴き、話す活動の充実

- ・ペアトークやグループ活動など伝え合う場を工夫します。
- ・上手な話の聴き方を定着させます。
- ・統一した形式のシートによる、書く活動の充実を図ります。

#### ④家庭学習の充実

- ・小中の連携を図りながら「学年×10分」の家庭学習の定着を図ります。
- ・頑張っている子どもの自主学習のノートを掲示して、意欲を高めます。

#### ⑤体験的な活動の充実

- ・様々な学習で体験的な活動を取り入れます。

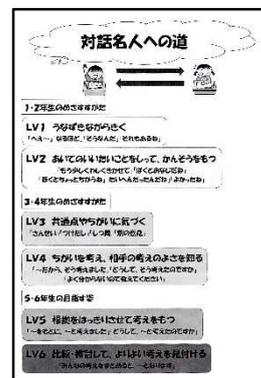
## 保倉小学校の取組

### ○授業研究・授業改善

学習指導要領の完全実施及び当校の教育課題に基づいて、「自ら学び、考えをもち、考えを広げる子どもの育成 ～対話的活動の充実を通して（国語科「読むこと」の領域から）」を研究主題にした1年次です。授業展開を「1、つかむ 2、つくる 3、ふかめる 4、ふりかえる」の4段階とし、その中でも特に「3、ふかめる」に重点を置き、研究主題に迫ります。そこで、研究の視点を次の3点とします。

- ①問いを生み出し、学びに向かう力を高める学習課題設定の工夫
- ②考えを広げ深めるための対話的な活動の工夫
- ③学びを支える日常的な指導の充実

※特に「自己内対話」や「他者との対話」の双方を充実させることで、考えを広げ深める子どもの育成を目指します。また、子どもたちには、「対話名人への道」を提示し、学期ごとに進捗状況を確認します。



### ○読書意欲の喚起と読書活動

学力向上の一助となることや豊かな心の醸成を目的に、次の読書活動を推進する取組を行います。

- ・学年別年間読書の目標冊数の設定
- ・たくさん読書した子どもたちへの表彰
- ・ボランティアによる読み聞かせ
- ・読書旬間での親子読書タイムの勧め
- ・読書郵便での感想交流

1学期の児童アンケート結果では、臨時休校があつたにもかかわらず、「進んで読書ができた」と回答した児童が昨年度と同等の88%に達しました。

# 有田小学校の取組

「社会性の育成」を中心課題に据え、実践を重ねています。ここでいう社会性とは、以下の3つに焦点化しています。

## ①人とのあたたかなかわり方の育成

(異学年や地域の人との交流、人間関係作り、他に受け入れられる判断や行動)

## ②規範意識や基本的生活習慣の育成

(自主・自立)

## ③自己有用感

(集団の中で役立っている)



そのために、以下の2つを柱に研究を進めています。

### ○授業における社会性 ～公開授業研究～

授業で育てたい社会性を明確にし、それを達成するための手立てについて考えます。すべての子どもが分かるように授業のユニバーサルデザイン化を意識したり、日々の学級経営で高め合う集団づくりに取り組んだりします。

また、全職員が年2回以上、指導案を作成した公開授業を重ねることで一人一人の授業力の向上にも取り組んでいます。

### ○特別活動における社会性 ～全校SST～

2年目となる全校ソーシャルスキル集会「ありペン・たーペン心の時間」で、あたたかいかわり方や望ましい言動を学んでいきます。

縦割り班活動では、一人一人が役割をもち、班のために役立つことで自己有用感を高められるように活動内容を工夫したり、活動後の振り返りで自分と友達との関わりに目を向けられるように促したりします。



# 春日新田小学校の取組

## ○研究主題「認め合い進んで学び合う子の育成～ステーション授業構想による集団づくり～」

本校は今年度、職員が大きく入れ替わり若い力が増えました。学ぶ意欲が高い集団になるように、校内研修の場で共通理解を図り研究を進めています。

### ○学力向上の主な取組

#### ①かわり方スキルを活用した全員参加の交流型学習形態の導入

・研究主題に迫るため、「かわり方スキル」の習得と授業等での活用、SSTタイムの実施、学級生活に生きる道徳の授業づくりに取り組み、よりよいかかわり方を学び、主体的に学び合いにつなげます。



【6年公開授業の様子】

#### ②「表現力スキル」の計画的な指導

・「表現力スキル」(書く力)を活用した言語活動を通して表現力の育成を目指していきます。

#### ③計画的な学習習慣の指導

・「学習の約束十か条」と「春新花丸ふでばこ」を各学級に掲示し定期的に重点項目を設定し取り組み、学習規律を整え、基礎的・基本的な学習内容の定着を目指します。

#### ④家庭学習習慣の育成と、「スタディー&アウトメディアウィーク」の実施

・自主学習カードを工夫したり、ノートの掲示を行ったりし、家庭学習の意欲と内容の質の向上を目指します。また、「スタディー&アウトメディアウィーク」を学期に1回実施します。1学期は、全学年で88.5%の児童が目標時間を学習することができましたが、メディアの目標達成率は70%で課題が残りました。今後も、家庭と連携をとり、メディアとの付き合い方について指導していきます。

日	時間	学習時間	達成率	達成状況
11月1日	15分	50分	333%	☆☆☆
11月2日	15分	60分	400%	☆☆☆
11月3日	15分	15分	100%	☆☆☆
11月4日	15分	40分	267%	☆☆☆
11月5日	15分	30分	200%	☆☆☆
11月6日	15分	15分	100%	☆☆☆
11月7日	15分	50分	333%	☆☆☆

※11月10日(水) 15分15秒クイズ  
※11月11日(木) 15分15秒クイズ  
※11月12日(金) 15分15秒クイズ  
※11月13日(土) 15分15秒クイズ  
※11月14日(日) 15分15秒クイズ

# 直江津東中学校の取組

## 東中「学びの3本柱」を紹介します！

令和2年度の直江津東中学校は、次の3つの目標の達成を目指して頑張ります。

### 〇1つ目は意欲的に学ぼうとする集団づくりです。

現在の東中は落ち着いて授業に取り組んでいます。その基盤となっているのは、生徒同士、生徒と教員、教員同士のよりよい人間関係づくりです。行事や毎日の生活の中で、互いに認め合う場面を作り、つながる場면을意図的に仕組んでいくことで、少しずつ大事に育ててきました。



【体育祭の『感謝カード』の取組から】

### 〇2つ目は「学び合い」のある授業づくりです。

新しい生活様式を意識させて、自分の考えをもち、仲間と意見を交わし合い、より深い学びを目指しています。



【ホワイトボード

を使って意見を交換し合う生徒たち】

### 〇3つ目は家庭学習・自主学習の習慣づくりです。

今年は学区全体での取組「アウトメディア」に挑戦しています。学習委員会がリードして、定期テストの学習時間を増やす呼びかけに加えて、ゲームやスマホを使う時間を減らそうとキャンペーンを行っています。一人では難しくてもみんなとやれば何でもできる。そんな東中だからこそ、現状打破につながるのではと期待しています。

こうした取組も地域や保護者の皆様のご理解とご協力あってこそです。ぜひ「がんばってるね」の一声で生徒たちの応援をよろしく願いいたします。

## 6月5日(金)学力向上研修会

上越教育大学  
赤坂真二教授を  
講師にお招きし、  
直江津東中学校  
において学力向  
上研修会を実施



しました。今年度は、感染症予防の観点から、分散研修としました。中学校会場での講演をビデオ撮影し、各小学校へ配信する形式で実施しました。動画の音声不明瞭であったため、不都合な点もありましたが、今後の研修方法に活かしていきたいと考えています。

講演では、直江津東中学校の6年間の取組から、下記の具体的なご指導をいただきました。

T(先生)-T(先生)関係から T-C(生徒)関係へと、安心と信頼を積み上げてきた「今の子ども姿」。生徒の所属への満足度は高く、「この集団にいても、いじめられない」「安心できる」との信頼感が学校への適応力を高めている。生徒の声に耳を傾け続け、関心を伝え続けてきた職員集団が素晴らしい。



## お知らせ

直東学園ニュース掲載ホームページアドレスが下のようになりました。

<http://www.higashi->

[j.or.jp/otayori/index\\_big\\_553.html](http://www.higashi-j.or.jp/otayori/index_big_553.html)

なお、これまでと同様に、各学校のホームページからもご覧いただけます。